

近畿本部（登録）防災研究会
第9回「防災講演会」のご案内
 テーマ：専門士業熊本地震ワンパック住民相談会に参加して

近畿本部（登録）防災研究会の防災講演会を以下のとおり開催いたします。防災に関わる問題は、全ての技術部門の技術士にとって重要なテーマのひとつです。多くの方々のご参加をよろしくお願い致します。なお、まだ技術士会に入会していない方や一般の方も参加することができます。

記

- 日 時：平成 28 年 8 月 30 日（火） 19:00～20:00
 ※18:30～19:00 防災研究会例会を開催します。
- 場 所：日本技術士会近畿本部会議室
- 内 容：「**専門士業熊本地震ワンパック住民相談会に参加して**」
- 講 師：有限会社太田ジオリサーチ 太田英将 氏
- 参加費：500 円（防災研究会会員は無料）
- 懇 親 会：講演会終了後、会場の近くで開催（会費 3,000 円程度）
- 申込み期限：平成 28 年 8 月 27 日（土）

近畿本部（登録）防災研究会 第9回「防災講演会」参加申込書

平成 28 年 月 日

氏 名	防災研究会（会員、非会員）	
懇 親 会	参加する	参加しない

防災研究会の会員以外
 の方は以下も記載して
 下さい。

技術士部門	技術士会（会員、非会員）	
勤 務 先		
電話番号		
FAX 番号		
メールアドレス		

【申込み先】公益社団法人日本技術士会近畿本部（登録）防災研究会

E-mail：minamigawa@etude.ocn.ne.jp

FAX：072-242-7179（担当幹事：南側晃一）

第9回「防災講演会」

【専門士業熊本地震ワンパック住民相談会に参加して】

有限会社太田ジオリサーチ 太田 英将

技術士（応用理学、建設、森林、総合技術監理部門）、Apec Engineer (Civil)

【略 歴】

1960年鳥取県生。1982年静岡大学理学部地球科学科卒業。明治コンサルタント(株)を経て、1990年に太田ジオリサーチ創業、現在に至る。専門は、地質・土質、斜面防災対策など。阪神・淡路大震災で丘陵地の盛土造成地が地すべり変動を発生したのを契機に、人工地盤（造成地）問題にもかかわるようになった。2006年の宅地造成等規制法改正（大規模盛土造成地変動予測事業および宅地耐震化事業の創設）時に技術支援を行った。現在は、経験則で組み立てられていた斜面問題を、強度実測と論理的方法によって再構築し、合理的・経済的な土工構造物の対策工を研究開発している。



【講演概要】

今年4月に発生した熊本地震で大きな被害を受けた地域に対して、阪神・淡路まちづくり支援機構が中心となって専門士業が一堂に会し、住民の相談を受ける「専門士業熊本地震ワンパック住民相談会」が6月10日（金）～12日（日）までの3日間開催されました。

参加者した専門士業は、弁護士、税理士、不動産鑑定士、土地家屋調査士、司法書士、行政書士、技術士、建築士の8業種です。日によって参加者のメンバーは変わりましたが、およそ30名が対応しました。日本技術士会からは5名（近畿本部2名、九州本部3名）が参加しました。

被災された住民の方は、家屋や宅地の危険度判定や、ローン、税金などたくさんの悩みを抱えておられます。それぞれ専門分野が異なるため、何度も各専門家が開催する相談会に参加しなければならないのですが、この専門士業ワンパック相談会は、すべての悩みを一つの相談会ですべて受け止めるという趣旨で開催されました。当初、技術士会が担当するような地盤の相談などあるだろうか？と疑問を持っていましたが、相談会が始まると、ほとんど休む間もなく相談に応じるという状態でした。技術士は地盤や土砂災害を専門とする人が参加しましたが、一緒に相談に乗る士業は、建築士と不動産鑑定士であることが多かったと思います。これらの士業とは日ごろから連携を深めておくことが大切だと感じました。

6月11日は南阿蘇村でヒアリング、12日は西原村（午前中）と益城町（午後・夜）で、13日は御船町（午前・午後）のスケジュールでした。

今回の専門士業ワンパック住民相談会では、技術士が役立つ場面が、技術士が思っている以上にたくさんあることや、他の士業と連携すると、住民にとってとても有益なアドバイスができるということが初めて実感できました。

技術士を除く7つの士業は、業務独占資格で、個人事業主の立場の方々です。この専門士業ワンパック相談会に参加して、技術士も、他の士業の方々と同様に業務独占資格とし、（企業株主等から独立した）中立的な立場で社会的役割を堂々と果たせるようになるべきだと感じました。